

# 日本の思想をよむ



[日本の思想をよむ\\_下载链接1](#)

著者:末木 文美士

出版者:KADOKAWA

出版时间:2020-3-24

装帧:

isbn:9784044005559

未来を考えるために、思想と文化を古典から読み解く、日本思想史入門。

空海、鴨長明、荻生徂徠、伊藤仁斎、福沢諭吉、南方熊楠、西田幾多郎……実に多様で新鮮な思想が、この国にはある。

人間や自然だけでなく、目に見えない死者や神仏との関係も親密なものとして捉えてきた。

他者との関係性のなかで自己を捉える視点こそ、いま求められている。

自然を考え、人間を考え、宗教を考え、社会や国家を考える。

単行本から新たに2編追加し、45編の日本の思想史を彩る著作をひもといて、未来を生きるためのヒントを見出す。

各著作の解説と原文抜粋を載せ、巻末には年表とブックガイドも収録する。

## 作者介绍:

### ●末木

文美士:1949年、山梨県生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。博士(文学)。現在、東京大学名誉教授、国際日本文化研究センター名誉教授。比較思想学会会長。専門は仏教学・日本思想史。仏教を含めた日本思想史・宗教史の研究とともに、広く哲学・倫理学の文脈のなかで、現代に生きる思想としてそのあり方を模索。『日本宗教史』(岩波新書)、『日本仏教史』『仏典をよむ』(新潮文庫)、『日本仏教入門』『日本の思想をよむ』(KADOKAWA)、『草木成仏の思想』(サンガ)、『親鸞』(ミネルヴァ書房)など、著書多数。

## 目録:はじめに

### 1. 自然と人間

空海『弁顕密二教論』

鴨長明『方丈記』

二宮尊徳『二宮翁夜話』

宮沢賢治『二十六夜』

南方熊楠『土宜法龍宛書簡』

### 2. 死者からの問いかけ

源信『往生要集』

慈円『愚管抄』

平田篤胤『靈能真柱』

柳田国男『先祖の話』

田辺元『メメント モリ』

コラム日本の思想を考える 1 三つの伝統

### 3. 超俗から世俗へ

最澄『山家学生式』

法然『選択本願念仏集』

叡尊『感身学正記』

夢窓『夢中問答集』

蓮如『蓮如文集』

鉄眼『化縁之疏』

伊藤仁斎『童子問』

### 4. 身体への眼差し

栄西『喫茶養生記』

明恵『夢記』

聖戒『一遍聖絵』

世阿弥『風姿花伝』

一休『狂雲集』

白隠『夜船閑話』

安藤昌益『統道真伝』

### 5. 仏教を捉え直す

親鸞『教行信証』

道元『正法眼蔵』

無住『沙石集』

不干斎ハビアン『妙貞問答』

鈴木正三『驢鞍橋』

富永仲基『出定後語』

和辻哲郎『古寺巡礼』

コラム日本の思想を考える 2 大伝統をどう見るか

### 6. 「日本」とはなにか

『古事記』

荻生徂徠『学則』

本居宣長『紫文要領』  
内村鑑三『基督信徒のなぐさめ』  
鈴木大拙『日本的靈性』  
西田幾多郎『場所的論理と宗教的世界觀』  
丸山眞男『日本の思想』  
7. 社会と国家の構想  
日蓮『立正安国論』  
吉田松陰『講孟余話』  
中山みき『みかぐらうた』  
福沢諭吉『文明論之概略』  
清沢満之『倫理以上の根拠』  
『国体の本義』  
『日本国憲法』  
ブックガイド  
年表  
あとがき  
・ ・ ・ ・ ・ (收起)

[日本の思想をよむ\\_ダウンロード1](#)

标签

日本思想史

评论

-----  
[日本の思想をよむ\\_ダウンロード1](#)

书评

-----  
[日本の思想をよむ\\_ダウンロード1](#)